

氏名	匿名1
所属/経歴/資格	<p>所属している特定の組織体： 無し</p> <p>経歴： 1974年、外資系石油化学会社に入社。約25年間プロセスエンジニアリング、その後、プロセスセーフティーエンジニアリング業務を担当して2009年に定年退職。その後、3社でプロセスセーフティー関係の契約社員として働く。</p> <p>資格： 高圧ガス製造保安責任者(甲種化学)、危険物取扱者免状(甲種)、1級ボイラー技士、公害防止管理者(大気1種、水質1種)、ISO-14000-2015 審査員補、他。</p>
活動・専門領域	<p>プロセスエンジニアリング： オレフィン製造設備および関連の排水処理設備などの運転条件改善、設備改造の検討・設計および運転後の改造効果確認業務。</p> <p>プロセスセーフティーエンジニアリング： OSHA(米国労働安全衛生庁)のPSM(プロセス安全管理)[現、CCPS(米国化学プロセス安全センターのRBPS(リスクに基づくプロセス安全))]のマネジメントシステム、特にリスクアセスメント・マネジメント、変更の管理、の構築、実行業務。</p>
手法・アプローチ	<p>潜在リスクの発掘・評価・管理： HAZOPなどにより潜在リスク(危険源)を発掘(特定)する。これらのリスクをリスクマトリックスを使って評価し、必要なリスク低減策を検討・実行する。さらに、一連のリスク低減アクティビティーの進捗を管理する。</p> <p>変更の管理： 設備・手順・組織の変更から生まれる潜在リスクを特定、評価し、必要に応じ当該潜在リスクを低減する対策を講じる。あわせて、変更内容および潜在リスクについての情報を関連部署に周知するとともに、当該変更に関連するドキュメントを制改訂する。</p>
最近の活動と今後	<p>現在、ある企業と契約社員の契約を結び、PSM(RBPS)型のマネジメントシステムの中で取り組まれている、リスクアセスメント&マネジメントを中心に、プロセス安全活動を支援している。</p> <p>プロセス安全、リスクアセスメント&マネジメント、変更の管理などについて、構築・実行上のキーポイントの説明、サジェスションなど、ご要望に応じ、実行に必要な支援を行います。</p>
実績等	—
その他	<p>何かを教えるというのではなく、お困りの内容をお伺いした上で、ご一緒に解決に向けて仕事をさせて頂ければ幸いです。なお、日本語以外の言語には対応致しかねます。</p>

氏名	逸目(にげめ)英正(えいせい)
所属	株式会社デザインウォーター 代表取締役
活動領域	土木と、関連する自然/社会科学分野 (1)土木、インフラに関わる全般(調査、計画、設計、評価など) (2)石造アーチ橋、アーチ/ヴォールト構造(調査、計画、復元) (3)海洋深層水関わる全般(調査、計画、設計など) (4)太陽熱温度差発電、低温スターリングエンジン
手法・アプローチ	技術基準、常識にとらわれず、原理原則からを旨とする。 (1)資料収集、評価 (2)モデリング (3)シミュレーション
最近の活動	海洋深層水の使い方、真価が誤解されているため、その再評価と 具体的活用手法の開発に従事。 (1)海洋深層水取水施設の設計、施工計画、積算 (2)海洋深層水活用施設の設計、積算 (3)太陽熱集熱システムの計画、設計、積算 (4)低温スターリングエンジンの計画、設計、積算 (5)太陽熱温度差発電システムの計画、設計、積算
実績等	建設コンサルタント(技術士、一級土木施工管理技士、測量士)として 以下の業務に携わった。 (1)土木構造物の計画、設計、施工監理、診断、分析など 橋梁(上部構造、下部構造)、トンネル、ダム、堰、海水取水施設など (2)施工管理全般 (3)都市計画、道路計画、道路交通情報・各種案内システムなどの付 帯施設/運用計画 (4)事業化計画 フィジビリティスタディ、収支計画、資金計画など (5)土木文化財 評価、移設、復元などの取扱 (6)海洋深層水 各種海洋調査、取水施設、冷熱活用、発電、海水分 離(栄養塩、淡水、濃縮水)など (8)海洋深層水を活用した地域振興の研究 (9)海洋深層水冷熱を活用した発電システムおよび低温スターリング エンジンの開発
その他	ISO9000 審査員(作業手順、効率、品質の評価) 各種社内規定、PDCA システム、管理会計システムの導入